

職場の安全意識と安全風土の評価

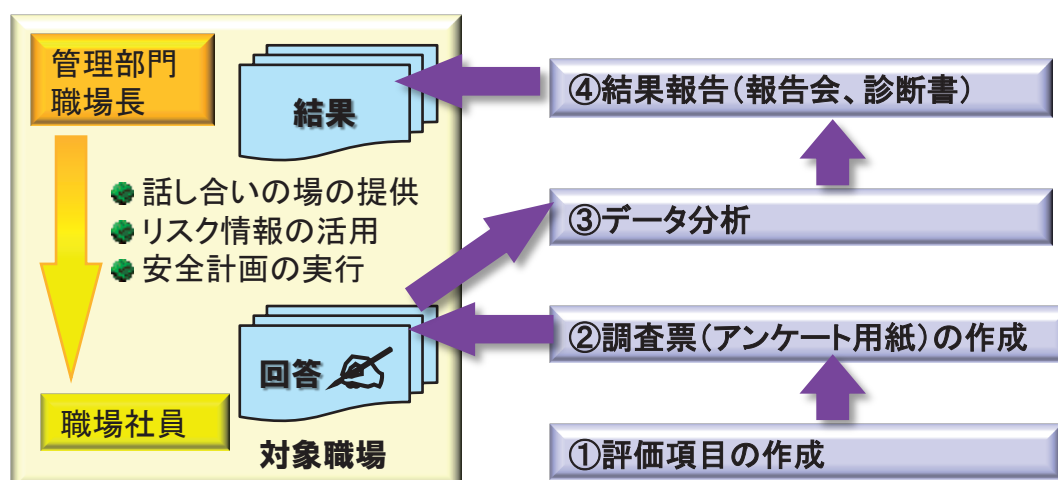
Evaluation of Safety Attitude and Safety Climate in Workplace

【概要】

職場における安全の取り組みを支援するため、安全に関わる様々な要因に対する作業者の認識、すなわち安全風土を把握するための調査支援を行っています。

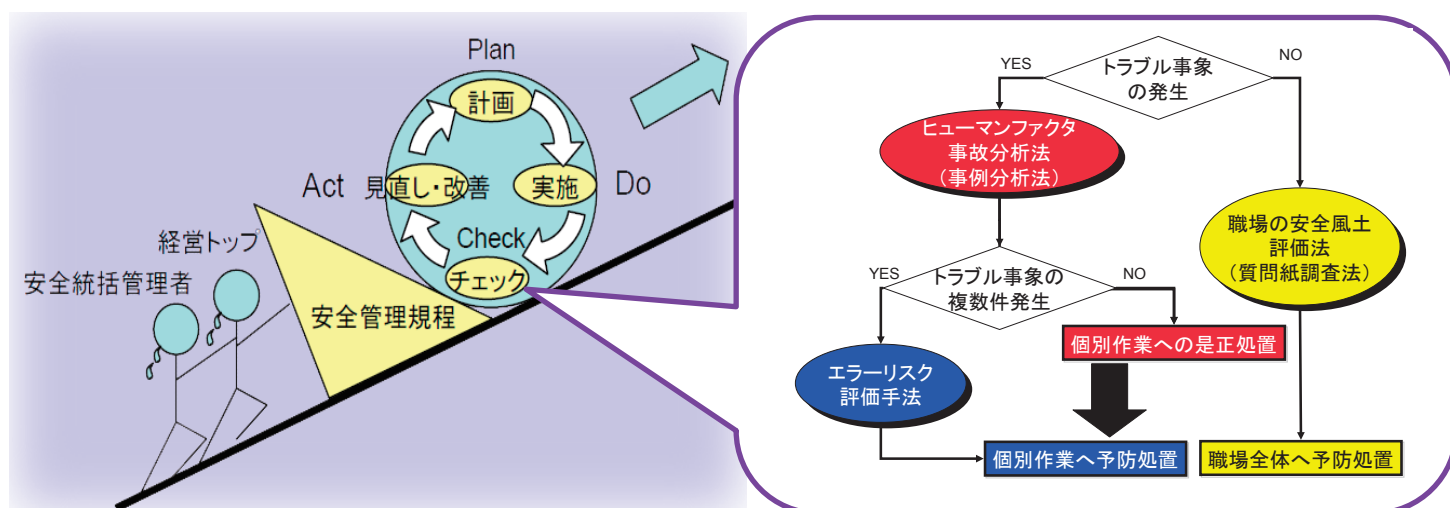
【特徴】

- 様々な職種系統に適用可能です。
- 評価項目は7段階、100問程度です。
- 既存の研究成果をもとに、現状に見合った評価項目を提案します。
- 評価結果から安全に向けた職場づくりのポイントをアドバイスします。



【用途】

職場の安全意識や安全風土の評価は、事故やトラブルが顕在化していなくても取り組める**事故予防活動**です。現状の問題点を抽出して、気づきを促し、**安全に向けた職場づくり**の改善点を明確にします。これにより、明確かつ継続的な**安全マネジメントの実施**を支援します。



以下に挙げる設問項目が、それぞれどのくらいあてはまると思いますか？
自分の考えに最も近い選択肢を1つ選び、数字（1, 2, 3……）を○で囲んでください。

以下に該当する場合は、各設問の右端の欄口に、×印を記入してください。

- ・ 職場や担当業務の関係で、回答できない場合
- ・ 設問の内容がわからない場合

<回答例>

教育・訓練を行う際、受講者がどの程度理解しているか個別に把握されている

全くそう思わない 1
あまりそう思わない 2
3
どちらかというそうは思わない 4
どちらとも言えない 5
どちらかというそう思う 6
ある程度はそう思う 7
非常にそう思う

自分にはわからない

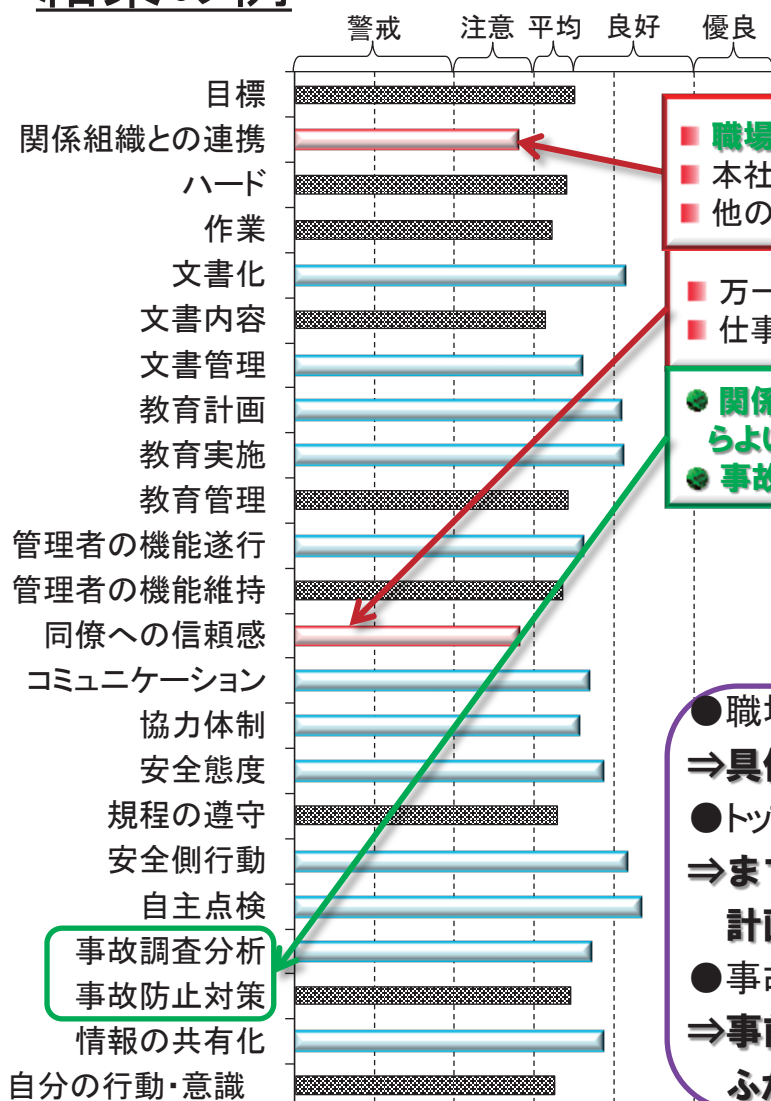
不明回答の多さが問題

選択肢

採点

結果の例

要因毎の評価



注意レベル

- 職場の活動に対して本社からサポートを受けている
- 本社の指示は職場の実態が反映されていない▼
- 他の部署との連絡や協力が円滑

- 万一の時には同僚が支えになってくれると思う
- 仕事を共にするのに不安を感じる 同僚がいる▼

- 関係者に対して責任や原因をどのように追求したらよいか、わからない
- 事故防止のための会議等が十分に機能している

▼安全上否定が必要な項目
不明回答が多い項目

改善ポイント

- 職場内の不安感
⇒具体的な改善策を提示
- トップダウンの支援の実感がない
⇒まずは職場の要望を聞く
計画策定に職場を参加させる
- 事故対応方法が周知されていない
⇒事前に事故情報の管理方法を決定
ふだんから理解の程度を確認しておく

公益財団法人鉄道総合技術研究所
人間科学研究部 安全性解析